

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

浜松市長 中野 祐介

市町村名 (市町村コード)	浜松市 (22130)	
地域名 (地域内農業集落名)	笠井・中ノ町地区 (別紙のとおり)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年11月20日 (第2回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・笠井地区はハウス畑作と水田と集落地が混在していて、地区西側は市街地化している。天竜川沿いではハウス群が形成されている。地区北側水田は北浜地区にかけて水稲の大規模担い手による農地集積が進んでいるが、自作地も多く、担い手の耕作地が分散してしまっている。
・天竜川沿いで砂利採取事業が多い。
・中ノ町地区は市街地や浜松インターチェンジ、国道1号線に隣接しているため物流施設等の開発圧が強く農地の減少が著しい。

【地域の基礎データ(R5.1担い手アンケート)】

・担い手農業者40名(69歳以下又は70歳以上後継者あり38名、70歳以上後継者なし2名)
・主な営農類型:水稲作4名、露地畑作4名、ハウス畑作27名、露地果樹0名、ハウス果樹2名、茶0名、花木2名、畜産0名、その他1名

(2) 地域における農業の将来の在り方

・農協や大規模担い手により形成された作物産地の維持・発展を図る。(施設野菜、水稲等)
・担い手間の利用調整を進め、担い手ごとにほ場の集約化を図り、各々の耕作作業の効率化を図る。まとまったほ場の確保により、将来的なドローン利用や作業の自動化などスマート農業の導入の可能性を高める。
・担い手耕作地の集約化に支障となっている荒廃農地の再生利用を図る。
・リタイア時の耕作地やハウス等の農業施設の引継ぎ方法の確立、地域への周知浸透を図る。
・砂利採取後の埋め戻し方法を確立し、跡地で適正耕作できるようにし、面積的にまとまったほ場として利用を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	294.7 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	294.7 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

・農振農用地区域内の農地(青地農地)とする。ただし流動性の低い営農型太陽光発電下部農地は除く。
・当初設定においては第91回農用地区域の変更(令和7年2月)に係る農地は除く。(このため上記(1)の面積は今後の変更あり。第91回農用地区域の変更分の確定後に面積確定する。)

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農業委員会(農業委員・推進委員)の農地利用最適化活動や農協、土地改良区による農地集積事業(定期的な貸出農地募集→利用調整の事業)により、担い手を中心に農地中間管理事業を活用した農地の利用集積を進める。集団農地では耕作地の集団化(集約化)のための耕作地交換を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用するため、まずは農地中間管理機構への貸付の拡大を図る。その後、農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用し、担い手リタイア時の耕作地の適切な継承や、担い手個々の耕作地の段階的な集約化(集団化)を図る。
(3)基盤整備事業への取組方針
・担い手のニーズや地域の課題等を踏まえ、必要な基盤整備事業を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・現存の担い手による農地利用を優先しつつ、必要に応じて地域外から多様な経営体を募り、担い手として育成していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・地域の作業をまとめて実施することにより効率化が期待できる農作業については、担い手への作業委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

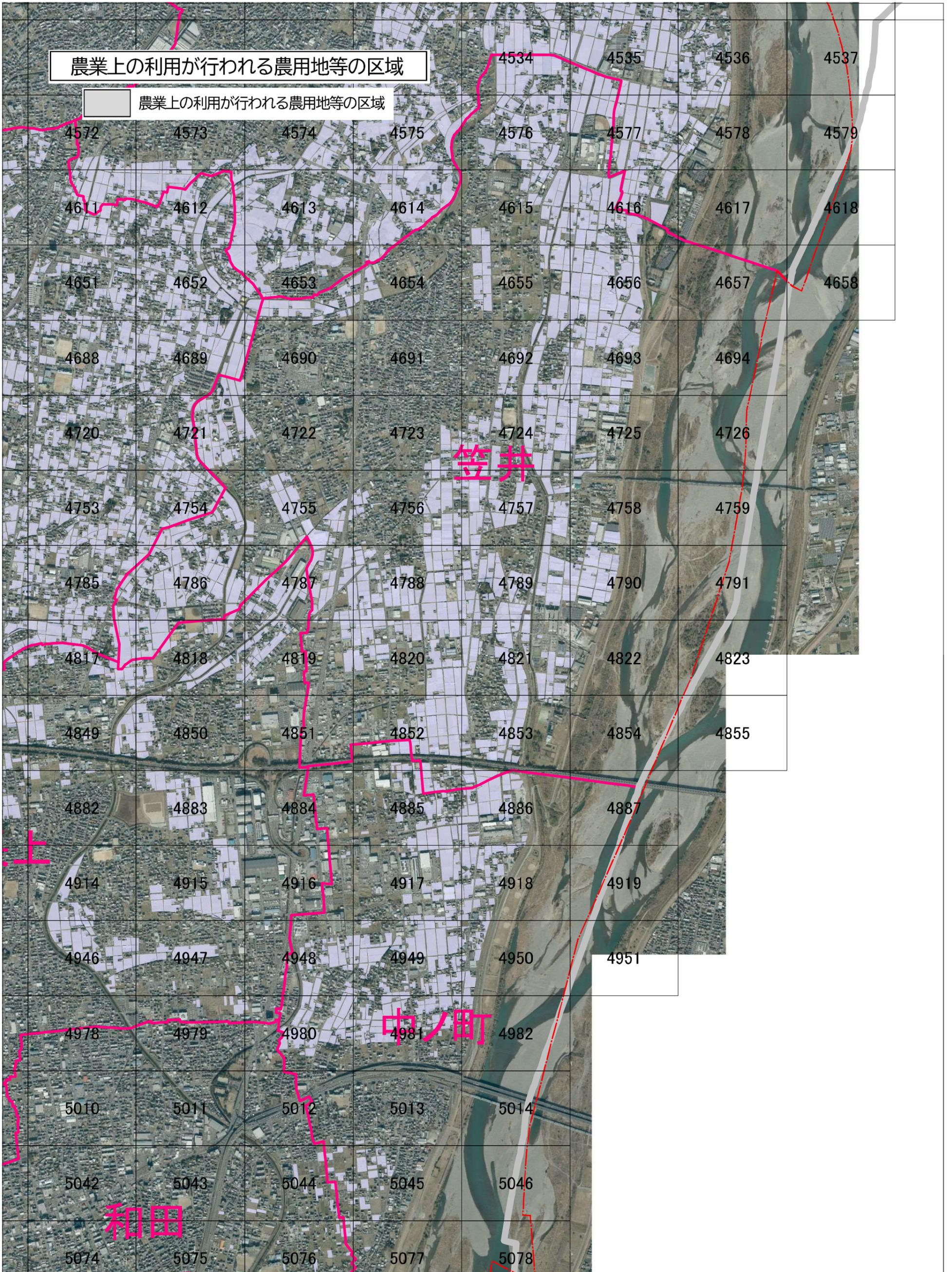
- ⑦地域環境保全活動(多面的機能支払)・・・中ノ町環境保全会
 ⑩砂利採取後の埋め戻し方法のガイドライン確立

(別紙)

地域計画の地区	地区	農業集落名
笠井・中ノ町	笠井	笠井町・笠井第二
笠井・中ノ町	笠井	笠井町・笠井第三
笠井・中ノ町	笠井	笠井町・笠井第四
笠井・中ノ町	笠井	笠井町・笠井第五
笠井・中ノ町	笠井	笠井町・笠井第六
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・中善地
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・末島
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・常光
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・貴平上
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・貴平下
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・恒武上
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・恒武下
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・下石原
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・倉中瀬上
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・倉中瀬下
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・羽鳥下
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・羽鳥隨国
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・羽鳥上
笠井・中ノ町	笠井	豊西村・上石原
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・中里上
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・中里下
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・松小池上
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・松小池下
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・大明神
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・萱場
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・中野町東
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・一色
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・富田
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・東島
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・中島
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・西島
笠井・中ノ町	中ノ町	中ノ町村・境

農業上の利用が行われる農用地等の区域

農業上の利用が行われる農用地等の区域



本図面は境界等の権利調整・確認には使えません

地域計画の地域の話合いの進め方

○参加メンバー

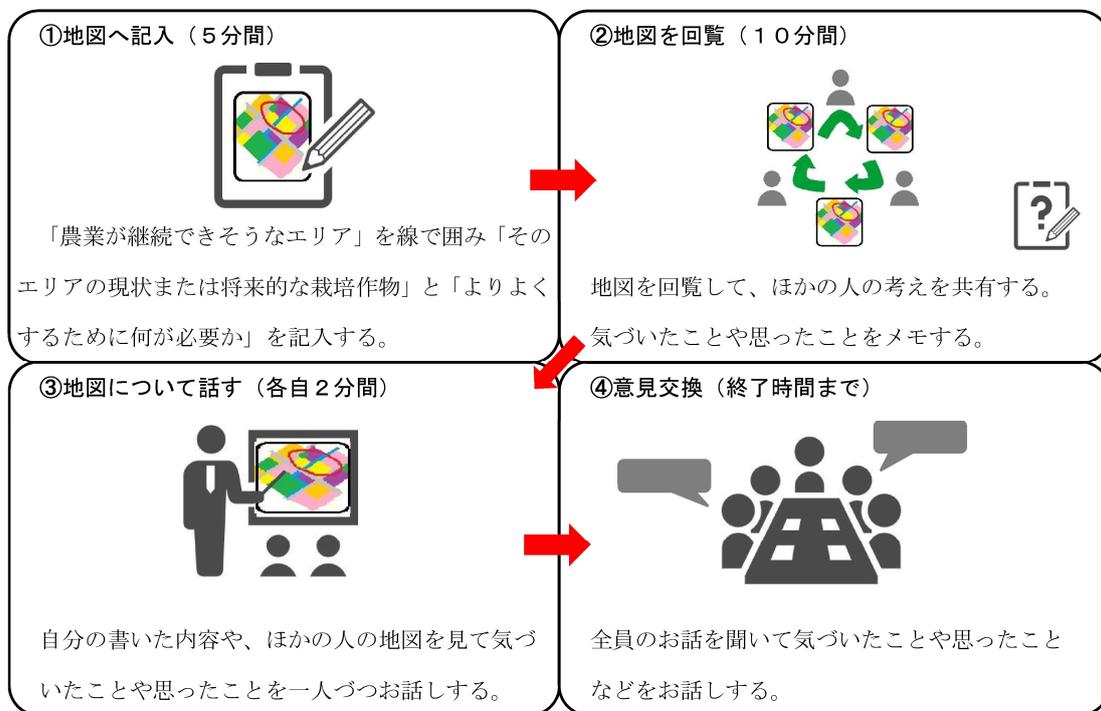
農業を行う側

- ・浜松市認定農業者協議会の役員
- ・地区内の農業者
- ・農協の産地作物部会の役員
- ・農協職員(地区営農支援担当)

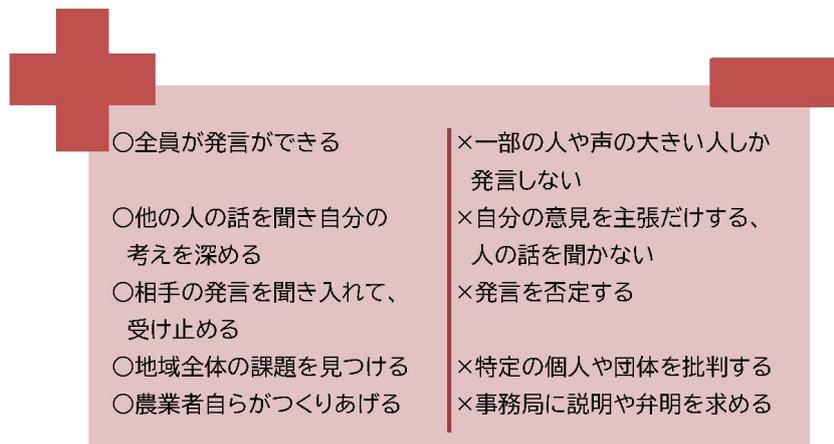
農業のサポート側

- ・農業委員、推進委員
- ・土地改良区、水利組合の役員
- ・中間管理機構(県公社)の職員
- ・県、市の職員

○話合いの進め方



○話合いのルール



地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
笠井・中ノ町	中ノ町は青色(水田)が多い…農業＝田	
笠井・中ノ町	インター周辺の流通施設の進出が多い	
笠井・中ノ町	1反・2反で転用が最近では1町2町で転用	
笠井・中ノ町	貯水池整備、道路も整備＝農地ゼロ、やる人もいない	
笠井・中ノ町	豊西川の西側施設 はねぎ・セロリは守りたい。	
笠井・中ノ町	隣の畑がすこし荒れてる	
笠井・中ノ町	物流施設が増えて、いい水田がなくなった 農地減少	
笠井・中ノ町	喜平・恒武、水田多いがだんだん違うものが増えた	
笠井・中ノ町	やろうと思えばまだできる みんなで同じ作物を作った方が良いと思う	
笠井・中ノ町	青・黄目立つ 青＝用水設備必要	
笠井・中ノ町	インターから近い所＝工業用になっている(四角い大きな田がごっそりなくなった)	
笠井・中ノ町	できればパイプライン、水が来るようにしっかり整備(来にくい所をちゃんと対策を)	
笠井・中ノ町	豊四川を左右に分けると川より東に農地多い	
笠井・中ノ町	組合…右側の方が水が来にくい(川東5か所、川西3か所)	
笠井・中ノ町	西側水が来にくい 整備しないと難しい	
笠井・中ノ町	お米が安い、1反あたりのコスト多い 手間がかかる 計画的にやるように	
笠井・中ノ町	担い手く自作地 自作地ができなくなったらが不安	
笠井・中ノ町	作業効率を考えると集積・集約を 各所が連携して計画的に	
笠井・中ノ町	農地が減少している 水も少なくなっている(水が来にくい)	
笠井・中ノ町	用水のパイプライン化が必要…よりやりやすいようにしていく	
笠井・中ノ町	水利で困っている 不十分	
笠井・中ノ町	担い手少ないが環境整える	
笠井・中ノ町	農地財産を誰かが継ぐように相続人が意識をもつ	
笠井・中ノ町	中ノ町、インター東、農地減少厳しいか	
笠井・中ノ町	市民たちでやっているが、きつい	
笠井・中ノ町	荒れている所は少ない	
笠井・中ノ町	田は水のため厳しい部分多い	
笠井・中ノ町	施設栽培の水は問題ない	
笠井・中ノ町	工場が増えて問題が出つつある	
笠井・中ノ町	ダムから流す水＝田が減ったから水は減らすのか	
笠井・中ノ町	決まりができると水が減ってしまう可能性も、意見は言うようにする	
笠井・中ノ町	浜松市全部に水が行くように調整するため、用水メーター数を短くしてほしい	
笠井・中ノ町	農地転用＝田は厳しくした方がいい	
笠井・中ノ町	田と田の間(民家横とか)用水の掃除が大変	
笠井・中ノ町	道→用水→水田→排水 道→用水→宅地 問題が	
笠井・中ノ町	用水のドロをあげるが宅地や用水敷地、コンクリになっていてあげにくい	
笠井・中ノ町	コンクリにあげたドロ→土から草が生えてしまう、見苦しい＝苦情	
笠井・中ノ町	「用水路の土を出して」から「土を処分して」に要望が変わっている	
笠井・中ノ町	いろいろがコンクリになったので土を上げる所がない	
笠井・中ノ町	出した土からすぐ草が生えるしドロもたまる	

地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
笠井・中ノ町	今後、よりドロ処分の問題が多くなると思う、対策を！	
笠井・中ノ町	施設、大雨、周りに大きな工場が出来たため排水が流れない	
笠井・中ノ町	貯水が古い、今後の雨に耐えられない	
笠井・中ノ町	地下水の流れも変化している	
笠井・中ノ町	見えないところの水の変化も起きている(自然環境の変化)	
笠井・中ノ町	耕作放棄地、木が大きくなった所が問題	
笠井・中ノ町	耕作放棄地の補助金…消費税が対象外なのは困る	
笠井・中ノ町	砂利取り 自然環境狂うかも	
笠井・中ノ町	田としてはましたが畑はアウトかも(特に露地はダメ)、建物があるとやりにくい	
笠井・中ノ町	砂利取りすると田も畑もダメになってくる	
笠井・中ノ町	埋め戻しを行政で面倒見てほしい(支援や指導を)	
笠井・中ノ町	農地として使えるように、よけた土が戻ってくるように 業者をお願いしているが戻ってこない	
笠井・中ノ町	砂利を入れると水はけが悪い、10年単位で調整しないといけない	
笠井・中ノ町	土壌が変わると生育に大きく差がでる	
笠井・中ノ町	地面下が変わると全然違う	
笠井・中ノ町	田が平らではなく奥まで水がいかず雑草が生える	
笠井・中ノ町	砂利採取をやった所は手をひく	
笠井・中ノ町	最近の温暖化がきつい	
笠井・中ノ町	新東名、県営路線、今後新規工事がすすめられる	
笠井・中ノ町	用水が低い、ゴミがたまりやすい	
笠井・中ノ町	まとまったホ場が少ない為、作業能率が悪い	
笠井・中ノ町	葉ねぎ、セロリ 貸借、交換による集約	
笠井・中ノ町	中ノ町は農業をやる所ではなくなった やる人もいなくなった	
笠井・中ノ町	インター周辺なので流通センターがバンバン立地	
笠井・中ノ町	天竜川西側は畑が多く施設園芸がさかん	
笠井・中ノ町	中ノ町地区は水田が多い	
笠井・中ノ町	インター東側は農地以外が多い	
笠井・中ノ町	水田用水路、パイプラインを取る	
笠井・中ノ町	水が便利ー水田多い 水が不便ー畑少ない 逆転している所が有る	
笠井・中ノ町	集約は難しい ハウス、田が混在	
笠井・中ノ町	思いのほか放棄地が少ない、荒廃が少ない	
笠井・中ノ町	竜南、田がまとまっている	
笠井・中ノ町	貯水池が少ない、排水できない	
笠井・中ノ町	水路の整備が不十分な所が多い 担い手少ない	
笠井・中ノ町	環境を整えていく(十分な所はあるのだろうか?)	
笠井・中ノ町	ドロの処分(水路から上げたドロ)	
笠井・中ノ町	農地をまとめて売った所 困まれて残った農地をどうするのか?	
笠井・中ノ町	用水にゴミがたまりやすい	
笠井・中ノ町	貸借の交換により集約する	
笠井・中ノ町	用水の整備が必要	

地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
笠井・中ノ町	畑と水田の集積 用水の改修	
笠井・中ノ町	まだまだ自作地が多いようだが、今後自分で耕作できなくなった場合の事も考慮しておく必要あり	
笠井・中ノ町	担い手への集約が不可欠	
笠井・中ノ町	農地貸借によって、作業効率も考えた上で、交換等によって集積・集約も実施した方が良い	
笠井・中ノ町	個人だけでなく地域全体で検討していく必要があると思う	
笠井・中ノ町	土地改良工事 施設ハウス 米(水田)	
笠井・中ノ町	用水整備(パイプライン)が必要 用水低い(ゴミだまり)	
笠井・中ノ町	作業効率悪い	

農地利用図(笠井・中ノ町)

【全体】

- ・インターチェンジ周辺で物流基地化が進んでいる。
- ・施設栽培が盛んだが土地利用型の農業者がいない
- ・北側はハウスと水田の混在
- ・水田の水利の再整備が必要

- ・水田は浜北からの入り作あり
- ・水利の再整備が必要
- ・圃場の集積集約での作業性の向上が必要
- ・砂利採取事業が多い
埋め方がしっかりしていれば砂利採取後
まとまった水田として利用も可という耕作者意見あり

・ハウス群

・ハウス群

・インター周辺(開発圧が強い)

・インター周辺(開発圧が強い)

着色凡例

田 (担い手・利用権)
田 (その他自作地)
畑 (担い手・利用権)
畑 (その他自作地)
荒廃農地

【地図に書き入れること】

- ①将来的に農業が継続できそうなエリアを丸で囲む(だいたいOK)
- ②そのエリアの「作物」と「農業を継続していくために必要なこと」を記入する。

本図面は境界等の権利調整・確認には使えません

浜松市農地WebGISシステム

【出力者】08719

1:10000